

オペラ座の怪人 (2004)

THE PHANTOM OF THE OPERA

メディア	映画
ジャンル	ミュージカル ロマンس サスペンス
製作国	アメリカ/イギリス
色彩	Color
時間	140分
初公開日	2005/01/29
公開情報	ギャガ=ヒューマックス
映倫	G
リバイバル	2007/10/13 [ギャガ] 2024/06/14 [ギャガ] (4 Kデジタルリマスター)

【キャッチコピー】

あなたの声で私の花が開きはじめる。

【解説】

世界中を魅了した不朽の名作ミュージカルを絢爛豪華に映画化したラブ・ストーリー。舞台版を手掛けた天才作曲家アンドリュー・ロイド＝ウェバー自身による製作で、男女3人の哀しき愛の物語を壮大なスケールで描く。監督は「依頼人」「フォーン・ブース」のジョエル・シューマカー。

1919年のパリ。今や廃墟と化したオペラ座で、かつて栄華を極めた品々がオークションにかけられていた。そして、謎の惨劇に関わったといういわく付きのシャンデリアが紹介された瞬間、時代はその悲劇をもたらした1870年代へと舞い戻る。当時、華やかな舞台でにぎわうオペラ座は、一方で、仮面をかぶった謎の怪人“ファントム”の仕業とみられる奇怪な事件の頻発に揺れていた。そのファントムを、亡き父が授けてくれた“音楽の天使”と信じ、彼の指導で歌の才能を伸ばしてきた若きコーラスガール、クリスティーヌ。彼女はある時、代役として新作オペラの主演に大抜擢され、喝采を浴びる。幼馴染みの青年貴族ラウルも祝福に訪れ、2人は再会を喜び合う。だがその直後、ファントムが現われ、クリスティーヌをオペラ座の地下深くへと誘い出すのだった…。

【クレジット】

監督	ジョエル・シューマカー	Joel Schumacher
製作	アンドリュー・ロイド＝ウェバー	Andrew Lloyd-Webber
製作総指揮	ポール・ヒッチコック	Paul Hitchcock
	オースティン・ショウ	Austin Shaw
	ジェフ・アッバリー	Jeff Abberley
	ジュリア・ブラックマン	Julia Blackman
	キース・カズンズ	Keith Cousins
	ルイズ・グッドシル	Louise Goodsill
	ラルフ・カンブ	Ralph Kamp
原作	ガストン・ルルー	Gaston Leroux
脚本	ジョエル・シューマカー	Joel Schumacher
	アンドリュー・ロイド＝ウェバー	Andrew Lloyd-Webber
撮影	ジョン・マシソン	John Mathieson
美術	アンソニー・プラット	Anthony Pratt
衣装	アレクサンドラ・バーン	Alexandra Byrne

編集	テリー・ローリングス	Terry Rawlings	
音楽	アンドリュー・ロイド＝ウェバー	Andrew Lloyd-Webber	
出演	ジェラルド・バトラー	Gerard Butler	ファントム
	エミー・ロッサム	Emmy Rossum	クリスティーヌ
	パトリック・ウィルソン	Patrick Wilson	ラウル
	ミランダ・リチャードソン	Miranda Richardson	マダム・ジリー
	ミニー・ドライヴァー	Minnie Driver	カルロッタ
	シアラン・ハインズ	Ciaran Hinds	フィルマン
	サイモン・キャロウ	Simon Callow	アンドレ
	ジェニファー・エリソン	Jennifer Ellison	メグ・ジリー